

# 事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0108402 - 01030

京都府南丹市

作成日: 平成21年05月12日

事業名	土地区画整理事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名	本町土地区画整理事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ( )	土木建築部 都市計画課 担当: 船越
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 24年度迄) 政策体系CD: 363	関連法令・条例等	都市計画法、土地区画整合法、南丹都市計画事業本町土地区画整理事業施行規定に関する条例	

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
既存商店街の集約・再編、都心居住の促進、公益機能を持つ施設整備のための用地整備を事業の柱として、併せて都市計画街路、国道9号の整備を図り、南丹市の中心市街地の拠点性を高め、多様な市民ニーズに対応する公共公益性の高い市街地形成を図る。
- ②事業を実施する必要性  
近郊都市の商業環境の向上、交通環境や車社会の進展により、商業をはじめとする都市を取り巻く環境の変化に対応することなく、求心性が低下してきました。このようなことから中心市街地の整備改善を図り、中心市街地の再生を図るため、土地区画整理事業を実施
- ③未実施事項  
現年度予算額 前年度繰越額 計 支出済額 翌年度繰越額  
378,550千円 154,750千円 533,300千円 396,039千円 136,550千円  
翌年度繰越額の内訳  
本町土地区画整理事業 翌年度繰越額 136,550千円
- ④他にも効果が見込める施策があるか  
区画整理事業により街路整備も併せて整備し、既存店舗の集約・再編、公共空間の創出、低未利用地の有効活用などにより、都市の中心性を高める施設整備と同時に、密集市街地の防災性の向上を図る。

## 【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	472,001	523,747	396,039	476,500	191,000
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	4,900	3,565	1,200	1,800	1,000
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	177,500	94,600	41,500	45,000
	地方債	千円	254,700	351,900	281,700	347,400
	一般財源	千円	39,801	77,247	72,839	84,100
職員等従事人員	人/年	—	—	1.80		
人件費	千円	—	—	11,249		
事業費総額	千円	—	—	406,088		

## 【主な支出の内訳】

工事	1,890千円	(工事請負費)
動産補償	235,850千円	(補償、補填及び賠償金)

## 【近隣市町村の取り組み状況】

福知山市が公共団体で福知山駅駅南区画整理を実施されている。

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
市街地再整備を行なうに市街地の活性化について議論する。
- ②当該事業のアピール事項  
市街地再整備を実施することにより、街路事業等一体的な面整備が実施され良好な市街地が形成された。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
市街地のハード事業の完了に伴い、今後はソフト事業を展開し市街地に賑わい取り戻すことが必要

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	363	事業名	土地区画整理事業			
事業CD.	108402-01030	細事業名	本町土地区画整理事業			
所管部局	土木建築部	所管課	都市計画課	担当	船越正一	

108402-01030

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
整備事業	中心市街地の再生を図るため、土地区画整理事業を実施し既存商店街の集約・再編、都心居住の促進、公益機能を持つ施設整備のための用地整備を事業の柱として、併せて都市計画街路、国道9号の整備を図り、南丹市の中心市街地の拠点性を高め、多様な市民ニーズに対応する公共公益性の高い市街地形成を図るため23年度完了に向け事業を推進した。	建物等の補償交渉、移転後の面整備を昨年に引き続き今年度も実施した。	総事業費 4,210,000千円 事業期間 平成14年度～23年度 進捗率 67%